

令和2年度第2回
 富士見市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会
 議事録

日 時	令和3年3月23日(火)			開 会 午後 2時00分	閉 会 午後 4時00分
場 所	分館 3階会議室	出席者数	委員定数12名中 出席者7名		
出席者	委 員	鏡会長、昼間副会長、岩村委員、辻口委員、名雪委員、星委員、松島委員			
	事 務 局	【事務局職員】 水口部長、濱島課長、齊藤副課長、甲佐主査、上村主任			
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・資料1 富士見市キラリと輝く創生総合戦略に定める数値目標について ・資料2 富士見市キラリと輝く創生総合戦略に定める KPI について ・資料3 「富士見市キラリと輝く創生総合戦略」のこれまでの振り返り ・資料4 第2期富士見市キラリと輝く創生総合戦略 ・資料5 新型コロナウイルス感染症等に係る対応等 ・資料6 答申書(案) 				
公開・非公開	公開(傍聴者なし)				

会 議 事 項

1 開会 鏡会長

- ・2015年から審議会がスタートし6年近く経過するが、様々な課題に対して慎重に審議いただいた結果として、地方創生に係るまちづくりの将来像が描けたのではないかと考えている。
- ・富士見市の中で市民が参画できるような政策の作り方を模索してきた。
- ・この間の様々な国などの政策、社会状況の変化があったなかで、どのように成長できたかが重要。
- ・これまでの審議会における精神が、総合戦略を包含した次の総合計画に活かされていくものと確信している。

2 議事

(1) 第1期富士見市キラリと輝く創生総合戦略の庁内での総括的な評価の報告

- ・事務局より、上記の件について、「資料1～3」を用いて説明。

質疑応答

なし

(2) 第2期富士見市キラリと輝く創生総合戦略策定の報告

- ・事務局より、上記の件について、「資料4」を用いて説明。

質疑応答等

委員：今回の策定においては、農地の集積、担い手の育成、経営の改善など都市近郊の農業振興として、明確な目標設定をしていただけたこと感謝する。

(3) 第1期富士見市キラリと輝く創生総合戦略に対する各委員による評価等について

委員：・「子育てするなら富士見市で」のスローガンのとおり、小中学校の子どもたちや保護者への支援は、他市町よりも充実しており、その点を踏まえ転入が増えていると感じている。

- ・GIGA スクール構想による環境整備や公園等の整備が、富士見市が転入先として選ばれる要因となっている。

- ・都内で働いている市民など、まだ富士見市のことを良く知らないという方が

多くいるため、富士見市についてよく知るイベントの開催や情報発信などを行ってほしい。

- ・多世代に渡り楽しめる公園や特色ある公園、公園を中心とした複合施設があると、市内外から人が訪れ、にぎわいが生まれると考える。

- ・都市部に近い環境でありながら、自然が残っていることが富士見市の特徴である。住みよいまちを残して行ってほしい

- ・富士見市の良さを内外に発信して行ってほしい。

委員：・子育て支援環境の充実に対する満足度が少しずつ高まってきていること、ふじみパワーアップ体操やフレイル予防等の取組により健康寿命が延伸していること、安心して安全なまち・暮らしに対する満足度・定住を望む方の割合が高い水準にあることは評価できる。

- ・「仕事」については、評価できることが少ない印象。

- ・人口減少を1年でも遅らせる観点から、助成金の充実など、若者世代への結婚、妊娠、出産、子育ての支援を充実させてほしい。

委員：・古い住民も子育て支援に対して理解があるという富士見市の伝統の上に、「子育てするなら富士見市で」という文化が形成されている。

- ・お母さんたちをどのように巻き込んでいくかがポイントとなる。

- ・水田地帯には良い道や自然があるので、自転車や散歩など市内を回遊するためのツールとしてもっと活用していくことで、富士見市のイメージを形作って行ってほしい。

- ・産業面では、富士見市の自然を生かして多拠点居住に対応したまちのデザインをして行ってほしい。

委員：・小学生たちがボール遊びやキャッチボールができるような環境を整備してほしい。

- ・高齢社会に向け、パワーアップ対応やサークル活動を楽しむための、場所や什器備品の整備をしてほしい。

委員：・市として子育て支援に取り組んでいることを、対外的にうまく発信して行ってほしい。市として活力が生まれるよう若者が集まってくるような取組みをしてほしい。

- ・農業に関して、水田は都市を水害から守る遊水機能を備えていることから、市民に評価していただけるような取組、後押しをしてほしい。

- ・果樹園などを活用し、消費者を巻き込んだ、参加型の観光農業といった施策展開をしてほしい。

- ・シティゾーンについては、若者や女性の雇用が促進できるようなまちづくり

を進めていってほしい。

委員：・未達成だった部分については、今後の総合計画等における政策的なヒントとなるので、ぜひ今後に生かしていってほしい。

・社会的に不安定な要素が大きくなった時ほど、行政が信頼を得る最大のチャンスのため、果敢にチャレンジして、市民からの信頼を勝ち取ってほしい。

委員：・富士見市は地理的な面で恵まれており、良い意味で一足遅れの健康文化都市である。緑がたくさんあって、子育てしやすいまちは魅力的である。

・地方創生に対して粘り強く取り組んできた事務局職員に敬意を表したい。

・人口減少社会、少子高齢化社会など、まちの変化に対してどう対応していくかが重要。ポストららぽーととして、政策の舵の取り方が重要となる。

・農業について、今日まで残っているのならば、文化の継承として今後も大切にしていくことが必要と考える。自然環境と利便性のマッチした、循環型社会を作っていってほしい。

・防災の視点を踏まえ、しっかりと取り組んでもほしい。

・達成率を示すのはとても勇気のいることだと思うが、ここから何を学び、政策をどう立て直していくかが重要。特に仕事面の強化をしていくことは、結果として人口の維持等に結びついていくと思うので、市民の皆さんと協力しながら進めていってほしい。

(4) 答申書の確認

・事務局より、上記の件について、「資料6」を用いて説明。

<内容>令和3年3月19日～令和3年3月21日の間で、Zoom Meeting 及び書面にて正副会長と調整を行い、作成した答申書に基づき説明。

質疑応答

なし

作成した内容で答申を進めてよいか確認

委員了承

3 閉会 昼間副会長

・委員の皆様長時間に渡り精力的なご審議ありがとうございました。

・今後は本審議会における答申や審議の過程で出された意見等を踏まえ、地方創生の主旨を活かしつつ、今後、富士見市総合計画等の中で各事業に取り組んでいってほしい。

閉会后、市長・正副会長・審議会委員出席の下、答申式を実施